

キレイな海と僕らの暮らしはつながっていた！ 自慢の海を再発見！ かがわ sea マスター

自分たちの暮らしと海とのつながりを学び、キレイで豊かな海を未来へ届けることを目的に、
県下の児童23名で結成されたのが、海と日本プロジェクト かがわseaマスターです。

ハマチ養殖発祥の地でもある東かがわ市引田で、養殖業や海ゴミについて学び、海への想いをこめて
海ゴミアートを制作。新聞づくりにも挑戦し、「未来の瀬戸内海」のためにメッセージを届けました。

海と日本プロジェクトとは
海と人と人をつなぐ。私たちを支えてくれる海の現状を伝え、美しい海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団がオールジャパンで推進しているプロジェクトです。

イベント レポート



7/21 海の恵みと環境を学ぼう！

引田沖の大型生け簀の見学や香川が誇るハマチ養殖の歴史、赤潮の恐ろしさ、豊かな海を守る取り組みを学びました。また、海岸に漂着した生活ゴミを拾って海の環境を学び、人々の暮らしが海の環境に大きな影響をあたえていることを実感。自分たちが海のためにできることを考えました。

8/11 海ごみアートを作ろう！

1日目に学んだことや、海へのメッセージを込めて、海岸で拾った海ゴミと持ち寄った生活ゴミを使ってそれぞれがアートを制作。県魚ハマチをテーマにしたアート作品『未来へのメッセージ』が完成しました。完成したアートは、さぬき高松まつり会場で展示、お披露目し、お祭り来場者にも「未来へのメッセージ」を書いていただき、かがわseaマスターの活動を応援していただきました。



8/28 新聞の紙面づくりに挑戦！

7月21日、8月11日のイベントを通して、それぞれが感じたことや学んだことをもとに新聞記事を書きました。
記事は、8月28日発行の四国新聞「こどもニュース&スポーツ」に掲載されました。